

“人口が減ってきて、なんとなく活力がなくなってきた”、“今後も人口減少・高齢化が進むだろうから、なんとなく不安”といった曖昧な現状認識に対して、データなどを用いて現実や将来の「厳しさ」を数値やわかりやすい指標で伝えることで強い危機感を生み出し、それを原動力に「じぶんごと化」を促します。

留意事項

- 既に高齢化率が50%を超えているような高齢化が著しい地区や、子どもが極端に少ない・いない地区では、将来の人口推計が非常に厳しい数字になる場合があります。その際には、「だから今のうちに取り組んでおくことがあるのではないか」、「いずれは他の地区も同じようになっていくのだから“先取りしている地区”としてがんばってみないか」といった“前向きな考え方の提示”や“支援の手”をしっかりと差し伸べることが重要です。
- 「人口が大幅に減っていること」や「高齢化率が高いこと」がそのまま課題となっているのではなく、“それによって生活上、どのような困りごとが発生しているか”に目を向けることが重要です。他の地区に比べて高齢化率の低い地区であっても課題がないわけではなく、子どもが多いために地区として取り組む必要がある課題が見つかるかもしれません。

プログラム例 1 徐々に「身近な地域」にフォーカスしていく

まずは、統計がしっかりと揃っており、まちづくりの方向性も明らかにされている「市町村単位」の人口動向や、これに基づく将来推計について知ったうえで、徐々に、「旧市町村・支所」、「小学校区」、「町丁目・大字」へと身近な地域の単位で人口の状況を数値で見ることを通じ、人口減少や高齢化の実態と予測について数字を用いて正しく認識してもらうことにより、人口減少や高齢化に対して危機感を持ってもらいます。

ステップ 1

市町村の人口動向と今後の動向を見つめる

まずは、市町村単位での人口動向を見てみましょう。地方創生に向けて各市町村で策定した「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」や「総合計画」で、将来推計について知ることができます。

総人口について把握した後は、年齢別の人口（年少・生産年齢・老年の各階層別の人口）や後期高齢者の数、さらには「高齢者1人を何人で支えるか」といった指標を見て、将来の介護や各種保険料の負担について考えてみましょう。

ステップ 2

小学校区などの地域ごとの人口の動向を見つめる

市町村内には、中心市街地や住宅地、中山間地域など様々な地域が存在しています。そこで、小学校の校区などを1つの単位として人口動向を見ることにより、その小学校の維持・存続の行方やPTA、老人会等の組織の存続などについて議論してみましょう。

特に市町村合併を行った地域では、旧市町村・支所単位や小学校区ごとに人口特性が大きく異なっている場合があります。市町村合併前後での人口動向の変化も含めて確認することで、地域の現状について、数値で的確に把握してもらいましょう。

ステップ 3

徒歩生活圏や町丁・字等別の人口の動向を見つめる

さらにエリアを絞り込み、自治会や町内会として相互扶助により助け合っているコミュニティ単位や、特定の施設を徒歩で利用できる圏域などでの人口動向について正しく理解し、歩いて行き来できるほどの身近な地域の状況を把握します。

ステップ 1

市町村の人口動向と今後の動向を見つめる

市町村の人口動向や推計人口が「見える化」されている主なデータとしては、各市町村が策定している「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」と、経済産業省と内閣府が提供している「地域経済分析システム（RESAS）」の2つが挙げられます。

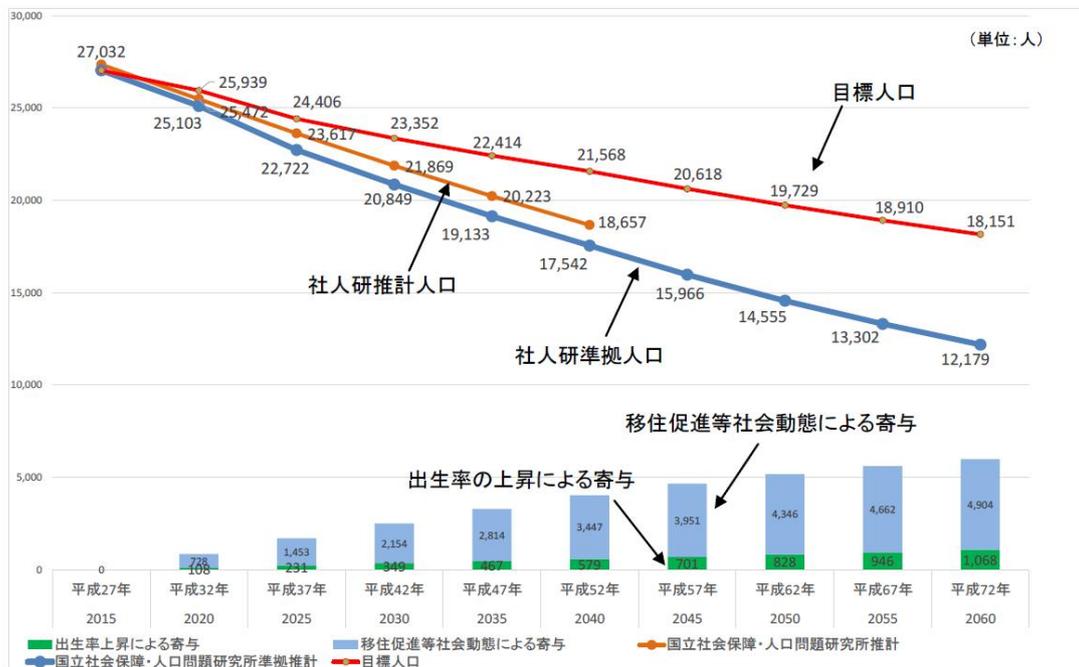
それぞれ特色があるので、地域住民に最も伝えたいことや最も伝えやすいものを選んだ上で、使いやすいデータを活用してみましょう。

データ例① 市町村の「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」

各市町村が策定している「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」において、市町村の人口動向や推計人口が整理されています。

市町村によっては、世帯数や年齢別人口、旧市町村別の人口を掲載している場合もあります。ない場合には、市町村の統計関係部署や都道府県が発行する「統計年報」や、国勢調査の結果が載っている e-Stat を活用してみましょう。

■市町村が策定した「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の例



「いき市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」より

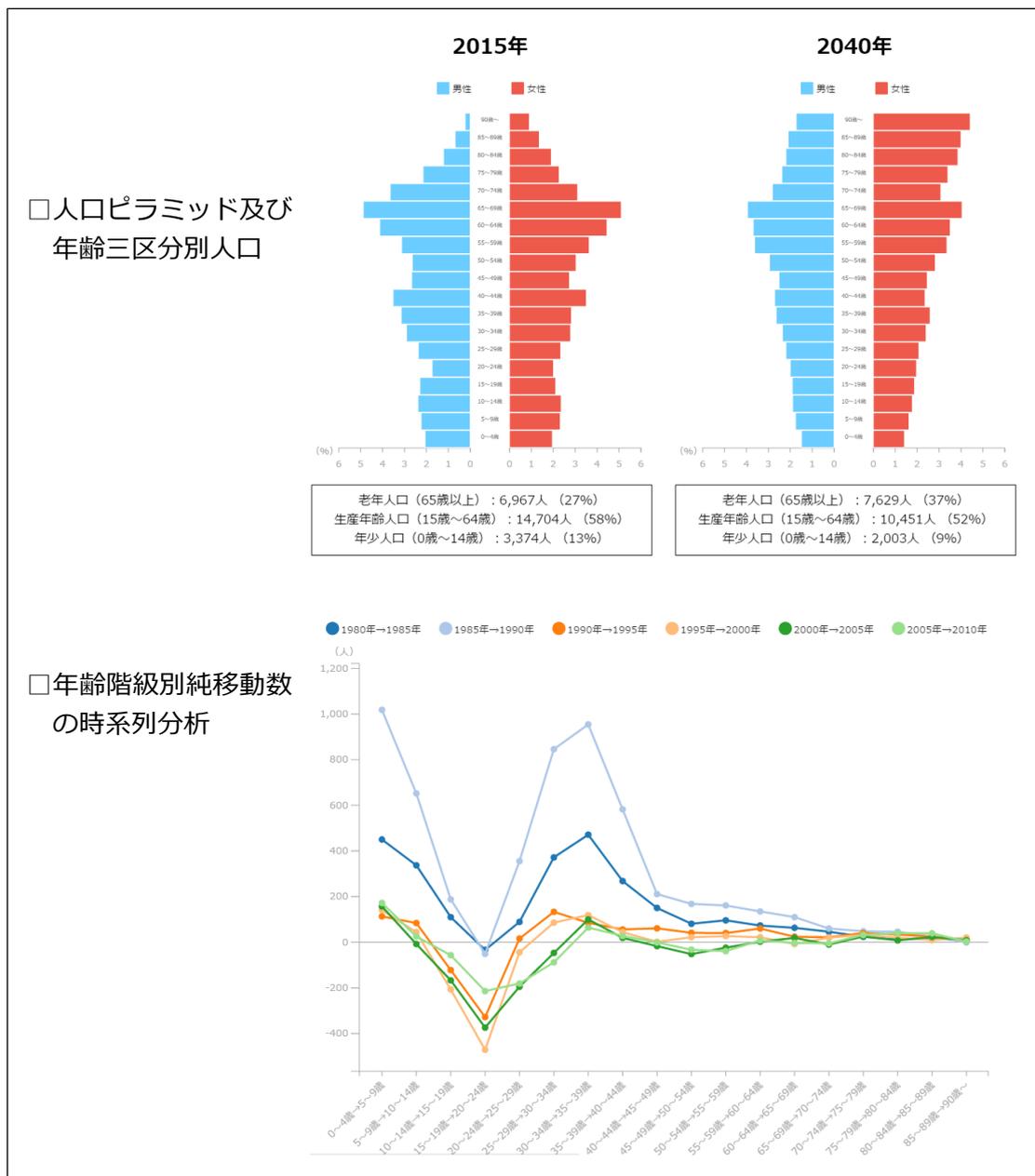
データ例② 地域経済分析システム（RESAS）の活用

経済産業省と内閣府が提供している地域経済分析システム（RESAS）は、インターネットが利用できる環境であれば、誰でも、どの市町村の人口もグラフで見ることができます。

近隣都市との比較や合算が容易にでき、スマートフォンやタブレットでも見られることから、気軽にどこでも誰とでも情報を共有しやすいのが特徴です。

さらに、年齢別人口や年齢階級別人口(人口ピラミッド)も見られるとともに、年齢層別の転出入先市町村なども分析できます。

■ RESAS における人口関連データの例



「地域経済情報分析システム（RESAS）」（三重県^{とういん}東員町分）より